

長地公民館「いちい学級」議場見学&懇談会の記録（2班）

令和5年7月7日 第2委員会室

参加者：司会：早出議員、記録係：藤森議員、今井議長、「いちい学級」受講者6人

- ① シルキーバス（今井ー長地線）の車体が変わったが、バスの両サイドの長椅子型になり違和感を覚える。荷物を置いて間隔を開けて座るので多くの人が座れないし、吊り革も少なく、通路も歩きにくい。
- ② シルキーバスの運行ルートが外目からは分かりづらいので、乗る際に気迷いする。主な行先のバス停が乗る前に分かりやすいといいのだが…。
- ③ シルキーバスで内山霊園に行くのだが、折り返し地点だからなのか、降りてから帰りのバスが発車するまでの時間が短く、ゆっくりお墓参りができない。お盆の期間だけでも増便して欲しい。お墓の掃除ぐらいゆっくりできるように運行時刻表を工夫して欲しい。
- ④ 駅前や周辺の雰囲気が悪く活気がない。商店街もシャッターが閉まっているところが多く賑わいが無い。
- ⑤ 諏訪や松本など周辺の駅前の状況に比べて岡谷市は取り残されている感が強く、ララオカヤの後に何を作るのか、先が見えず、早く方針が決まってほしい。
- ⑥ 人口の減少に歯止めがかからず、このままだと「市」から「町」になってしまうのではないかと不安になる。若い人が住みやすい街にするにはどうすればいいのか、しっかり考えて欲しい。
- ⑦ 以前に比べて湖畔や公園が整備されて憩いの場が多くなったのはうれしい。緑の山と湖があって気持ちよく暮らせるところが岡谷の良いところだと思う。こうした魅力を多くの人に知ってもらおう努力をすれば岡谷に住みたい人がもっと出て来るのではないかと。
- ⑧ 年寄りが増えて若い人が減っている。若い人の給料をもっと上げて、岡谷で働きたい人を増や

すべきだと思う。

- ⑨ 岡谷市の主産業は何と言っても「精密」だと思う。ホワイトカラー志向の若い女性が働きやすい職場環境を整えることも大事だが、“ものづくり”の伝統を大事にして欲しい。
- ⑩ 最近シルクの話が多くなった。岡谷の“名物”を前面に出して街づくりに取り組んで欲しい。
- ⑪ ごみステーションが少なく、遠い。車を運転してごみ出しできる人はいいけれど、車の運転ができない年寄りが大きなごみ袋を抱えて歩いて行くには距離があり過ぎる。ごみの収集拠点を増やして身近にして欲しい。
- ⑫ 市役所に来ても1階、2階ぐらいしか立ち寄らないから、議場に初めて入ることができて感動した。議長席に座ることなんて普通は体験できないから、良い経験ができて本当に良かった。こうした催しを多くしてもらえば、議会に対する親近感も沸くのではないか。

以上、懇談会の主な発言内容をまとめました。市民が日常生活で感じている意見や要望を直接聴取できる機会となり、議員としても貴重な場となりました。こうした公聴会的な催しをもっと増やして市政への「市民参加」を促す試みを大事にしたいと思いました。(文責：藤森 弘)